

金沢大学附属病院で多発性骨髄腫の診断を受けた患者さんへ  
研究協力のお願について

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2020年6月～2022年2月に金沢大学附属病院で多発性骨髄腫の治療を受けられた方

2. 研究の概要

研究課題名 ASIAN MYELOMA NETWORK STUDY OF THE NATURAL HISTORY

OF RELAPSED/REFRACTORY MULTIPLE MYELOMA AFTER PROGRESSION ON ONE OR TWO PRIOR LINES OF THERAPY

研究期間 承認日2023年9月20日 ～ 2025年3月1日

目標数 全体1000例（金沢大学：20例）

<背景>

骨髄腫領域での活発な新規薬剤の開発・臨床実装によって深い奏効が達成できるようになり、無増悪生存期間や全生存期間の延長が著明になっています。しかし、多くの患者さんは再発するため、再発した際に使用する薬剤、治療法のうち何が最も効果的かはまだよくわかりません。特に、アジア人患者での大規模な検討はいまださせていません。そのため、本研究ではこれまでに1、2、3種類の治療を受けられた患者さんのその後の治療について調査、解析します。これまでに通常の治療で得られたカルテ情報を調査する観察研究になりますため、特に追加の検査は必要ありません。

3. 研究の目的・方法について

<目的>

本研究では、2020年6月～2022年2月に金沢大学附属病院で多発性骨髄腫の再発治療を受けられた方のカルテ情報を用いて、どの治療を用いるとより効果的かを調査いたします

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 患者年齢、性別、血算、白血球分画、生化学、ISS、R-ISS、骨髄データ、骨髄染色体データ、治療内容、MRI、FDG-PET/CT

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された情報は、金沢大学又は共同研究機関において個人が特定できない様に匿名化を行い、その情報を電子メール添付にて国立シンガポールがんセンターへ提供されます。

## 6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理され、研究事務局に提出されますが、あなたの個人情報外部に漏れることはありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

## 7. 研究組織

### (1) 金沢大学における研究実施体制

研究責任者 融合研究域融合科学系/血液内科 高松 博幸  
 研究分担者 医学系血液内科学 宮本敏浩  
 附属病院血液内科 鎧高健志

### (2) 共同研究機関と研究責任者

研究機関：国立シンガポールがんセンター

研究責任者：Prof Chng Wee Joo

役割：主任研究員として研究統括、データ解析など

以下、共同研究機関の詳細

## PRINCIPAL INVESTIGATOR:

Prof Chng Wee Joo, National University Cancer Institute, Singapore

## STUDY SITE AND SITE PRINCIPAL INVESTIGATOR:

Country/Region	Sites	PI
Singapore	National University Cancer Institute	Dr. Chng Wee Joo (Study PI)
Singapore	Tan Tock Seng Hospital	Dr. Cao Ling
China	Chang Zheng Hospital	Dr. Du Juan (Country/Region PI)
China	Peking University Hospital	Dr. Lu Jin
Hong Kong	Queen Mary Hospital	Dr. Karen Tang (Country/Region PI)
Taiwan	Chang Bing Show-Chwan Memorial Hospital	Dr. Cheng-Shyong Chang
Taiwan	Taichung Veterens General Hospital	Dr. Jerry Teng (Country/Region PI)
Taiwan	National University Taiwan Hospital	Dr. Jeffrey Huang
South Korea	Samsung Medical Center	Dr. Kihyun Kim
South Korea	Asan Medical Center	Dr. Dok-Hyun Yoon (Country/Region PI)

		PI)
South Korea	Chonnam National University Hospital	Dr. Je-Jung Lee
South Korea	Gecheon University Gospel Hospital	Dr. Jae Hoon Lee
South Korea	Seoul St. Mary's Hospital	Dr. Changki Min
South Korea	Kyungpook National University Hospital	Dr. Joon Ho Moon
South Korea	Seoul National University Hospital	Dr. Sung-Soo Yoon
South Korea	Kosin University Gospel Hospital	Dr. Ho Sup Lee
South Korea	Ewha Womens University Mokdong Hospital	Dr. Yeung-Chul Mun
South Korea	National Cancer Center	Dr. Hyeon Seok Eom
South Korea	Chung-Ang University Hospital	Dr. Jun Ho Yi
South Korea	Hallym University Sacred Heart Hospital	Dr. Hyo Jung Kim
South Korea	Pusan National University Hospital	Dr. Ho-Jin Shin
South Korea	Jeonbuk National University Hospital	Dr. Ho-Young Yhim
South Korea	Ajou University Hospital	Dr. Yoon Seok Choi
Japan	Tokushima Prefectural Central Hospital	Dr. Shuji Ozaki
Japan	Kanazawa University	Dr. Hiroyuki Takamatsu
Japan	Gunma University School of Medicine	Dr. Hiroshi Handa
Japan	Tokushima University School of Medicine	Dr. Dr. Masahiro Abe
Japan	Japanese Red Cross Medical Center	Dr. Tadao Ishida (Country/Region PI)
Japan	Iwate Medical University	Dr. Shigeki Ito
Japan	Tokyo University Medical Research Institute	Dr. Yoichi Imai
Japan	Nagoya City University	Dr. Shinsuke Iida
Japan	Kyoto Prefectural University of Medicine	Dr. Junya Kuroda
Japan	Chiba University	Dr. Emiko Sakaida
Japan	Shibukawa Medical Center	Dr. Hirono Iriuchishima
Japan	Japan Medical College	Dr. Hideto Tamura
Japan	Juntendo University	Dr. Makoto Sasaki
Japan	Hiroshima-Nishi Medical Center	Dr. Yoshiaki Kuroda
Japan	JCHO Kyoto Kuramaguchi Medical Center	Dr. Chihiro Shimazaki

この研究は製薬会社であるグラクソ・スミスクライン株式会社の研究資金（受託研究費）を用いて実施しますが、金沢大学内での研究は金沢大学の研究費（運営交付金）で行います。この研究の研究担当者は、金沢大学または各研究機関の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。また、学会発表は論文の公表にあたっては、資金について公表し研究の透明化を図ります。

## 9. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2024年3月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

## 10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者	金沢大学 融合研究域融合科学系 (血液内科)、高松博幸
相談窓口担当者	金沢大学附属病院 血液内科 鎧高 健志 (機関名 所属 氏名)
住所	〒920-8641 金沢市宝町 13 番 1 号
電話	076-265-2275